

# 北陸 2 日間ナビざんまい

木村佳司

2009 年 10 月 17 日 金沢大学大会(石川県) / 10 月 18 日 下宇坂大会(福井県)

M35A W21A	3.140		
▷		↘	↙
1	56	↘	↙
2	62	○	
3	156	↘	↙
4	135	↘	↙
5	128	↘	↙
6	123	●	
7	131	↘	↙
8	132	↘	↙
9	134	↘	↙
10	55	↘	↙
11	58	↘	↙
12	60	↘	↙

- 主要道路
- 舗装道路、駐車場
- 道路、道
- 小道、小径
- 不明瞭な小径
- 切り開き
- 建物、柵
- 植生界、耕作地の線
- 墓、ほころ、記念碑
- 小池
- 海、池、小さな池
- 穴、小凹地
- こぶ(小さい、細長い、明瞭な)
- 開けた砂地
- 独立樹、特に目立つ樹
- 耕作地
- 民家の敷地
- 疎林の開けた土地
- 荒地
- 疎林の荒地
- 見通しの良い林
- 見通しの悪い林
- 100% 80 60 20 0 走行度
- 走行容易 通行困難

## 加賀海岸 2009

石川県加賀市  
縮尺 1:10,000  
等高線間隔 2.5m



第25回金沢大学オリエンテーリング大会  
調査原因  
「加賀海岸2008(西)」  
(2008年ジェネシスマッピング社作成)  
調査期間(経年変化)  
2009年9月~2009年10月  
調査者  
青井翔 高島拓也 辻晃 西田知弘  
千保翼 倉利弗祐介 天谷翔吉  
作図者  
千保翼(OCAD 8.13 License No.4353)

緊急連絡先

清水携帯

第25回金沢大学オリエンテーリング大会  
兼平成21年度県民オリエンテーリング大会  
2009年10月17日(土)

北陸 2 日間イベントでクラス  
2 連勝。これは準備の成果で  
もある。それをご紹介します。

### 2009 年 10 月 17 日(土) 金沢大学大会 (石川県加賀市)

WE		
1 渡辺円香	0:36:49	ES 関東 C
2 齊藤早苗	0:38:51	チーム白樺
3 酒井佳子	0:39:08	Team Ski-O
ME		
1 松澤俊行	0:28:30	松塾
2 山根祥延	0:33:01	大阪 OLC
3 吉田 勉	0:34:02	みちの会
M65A		
1 磯部貞夫	0:35:25	OLP 兵庫
2 柴田喜一	0:45:03	つるまい C
3 成瀬行雄	1:14:59	富山 OLK
M50A		
1 城森博幸	0:25:12	OLP 兵庫
2 福田良雄	0:34:44	OLP 吉備路
3 加藤昭治	0:40:52	愛知 OLC
M35A		
1 木村佳司	0:29:06	長野県協会
2 小泉辰喜	0:31:20	東京 OLC
3 寺島一樹	0:34:38	ES 関東 C

M21A		
1 谷川友太	0:28:16	名古屋大学
2 伴 毅	0:29:47	京大 OLC
3 三森創一朗	0:31:13	東北大 OLC
M20A		
1 大箱貴志	0:38:37	京大 OLC
2 松尾 遼	0:39:09	京大 OLC
3 木村友佳	0:53:58	長野高専
W50A		
1 山本陽子	0:33:44	東京都
2 佐野千恵美	0:35:35	小松協会
3 福田瑞恵	0:44:40	小松市 OLK
W21A		
1 宮川早穂	0:38:19	ES 関東 C
2 寺嶋貴美子	0:40:50	ES 関東 C
3 小玉千晴	0:41:19	椋山 OLC
W20A		
1 中村あすか	0:53:19	京女 OLC
2 木村友香	0:54:21	京女 OLC
3 西谷佳奈	1:03:48	京女 OLC
B		
1 世良 清	0:27:29	三重大学
2 土屋 武	0:30:24	愛知 OLC
3 兼田史子	0:32:20	Team 白樺
N		
1 吉田菜々子	0:31:53	南台小
2 吉田耕平	0:33:27	南台小
3 吉田桃子	0:34:22	南台小
G		
1 村本藍花	0:33:31	

2 小林 力	0:45:23
3 杉本若奈	1:07:53



金沢大会に向かう前に寄った北陸鉄道「加賀一宮駅」。古い駅舎とお宮がそこにあった。



加賀一宮駅に停車する北陸鉄道石川線。2009年10月いっぱいまで加賀一宮-鶴来間が廃線。もはやこの風景を見ることはない。

## 名テレイン加賀海岸

金沢大学がオリエンテーリングマニアの要望に応じてくれた。

日曜日に福井市で「JOA 公認・下宇坂大会」の前日にオリエンテーリング競技会を開催してくれた。テレインは今までに数々の名勝負を生んできた「加賀海岸」(石川県加賀市)。北陸随一の名テレインは、もはや公認大会の前日イベントの枠を越え、この大会自体が素晴らしいナビゲーションイベントとなった。

手ごわい加賀海岸のテレイン。1時間ごとにくるくると変わる天候。参加者は北陸の自然を堪能していた。

筆者木村は M35A で優勝。北陸ツアーに優勝の嬉しさが加わった。

## ウェア

ボトムスはサポートタイツにした。大きく間違っていない。

結果的にはもう少し生地の厚いもののほうが良かったようだ。松の密集地帯を通過するとき、タイツでは松の葉がチクチクと痛かった。

トップは厚手のナイロン製Tシャツ。予想以上に気温が高く、体温上昇を抑えるのが目的。加賀海岸ではヤブをすり抜けて走ることが少ないのでこれで充分だった。

## シューズ

長距離ランニングシューズを使用した。これも正解。ピン付オリエンテーリングシューズは使用しなかった。加賀海岸はアップダウンが少なく地面は水はけの良い砂地である。ピン付シューズが役立つことはない。それよりトップスピードが出せるシューズを選んだ。

## サングラス

目の保護を兼ねてスポーツサングラスを使用。これもよかった。

加賀海岸は松の横枝が多く、顔や目のケガには気をつかう。目の保護があると、森を進む時の安心感があり、スピードを上げる事ができる。

テレインに生えている松はおおむね背丈が低く、テレイン内の日照条件はよい。サングラスをしていてもレースに支障はない。さらに砂塵が目に入るのを防いでくれる。

## コンパス

プレートコンパスを選択。これも正解だ。加賀海岸は地形変化に乏しいテレイン。そのなかを直進するレッグが多いだろうと推測した。そんなテレインではコンパス 1-2-3 を多用する。

## レースの感想

「あの加賀海岸が1年でここまで変化したのか」

加賀海岸は2001年のインカレショート大会で初めて使用されたテレイン。そのときは成長した黒松が加賀海岸の砂丘全体を覆っていた。松林の通行可能性は抜群だった。松くい虫の被害が多くなった2006年を境にテレインの状況は変化する。それでも1年前の2008年に行われたクラブカップではまだ走れるテレインだった。

しかし今年の加賀海岸は、間伐が進んだ林床に多くの松の幼木が伸びてきた。砂丘全体が剣山のような状態になっていたのだ。直進をすれば松の幼木が膝に突き刺さる。以前のような走りやすいテレインではなくなった。

レース自体はムダな動きをせず、シンプルに直進を心がけた。しかし植生の悪化により途中から方針を転換。直進ではなく道を使ったルート選択に切り替えた。



名勝東尋坊の観光。

酒井佳子(左)、木村友佳(右)  
加賀海岸から福井への移動途中にある。同じことを考えたオリエンティア多数。



越前・東尋坊に集まるエチゼンクラゲ  
初めてナマで見た。大きい!



禅宗の総本山「永平寺」

下宇坂大会会場から尾根ひとつ越えたとこにある。下宇坂大会入り前の早朝に寄ってみた。修行の雲水たちが駆け回って掃除をする、生きた道場を見た。このあと自分も下宇坂の山で修行レースに臨むのだ。

## 2009年10月18日(日) 下宇坂大会(福井市)

WE	3.52km	↑220m
1	酒井佳子	0:41:52 Team Ski-O
2	加納尚子	0:42:03 朱雀 OK
3	関谷麻里絵	0:42:35 朱雀 OK
ME	4.59km	↑300m
1	松澤俊行	0:43:51 松塾
2	李 敬史	0:46:44 横須賀市
3	池 陽平	0:48:30 OLC ルーパー
M21A	4.07km	↑260m
1	谷川友太	0:37:22 名古屋大学
2	林 真一	0:37:25 名古屋大学
3	佐藤悠太	0:39:40 東北大 OLC
M65A	2.89km	↑170m
1	小幡昭次	0:38:43 三河 OLC
2	高原 進	0:45:46 日本スキーO
3	磯部貞夫	0:51:02 OLP 兵庫
M50A	3.06km	↑200m
1	小八重善裕	0:35:42 鈴亀 OLC
2	宮崎敦司	0:37:59
3	城森博幸	0:38:35 OLP 兵庫
M35A	3.41km	↑220m
1	木村佳司	0:36:47 長野県協会
2	杉本光正	0:36:57 ES 関東 C
3	辻村 歩	0:36:59 ふるはうす
M20A	3.22km	↑200m
1	辻 晃	0:32:39 金沢大学 OLC
2	瀧本拓央	0:37:28 名大 PAL's
3	菅谷裕志	0:39:57 名大 OLC
M18A	3.22km	↑200m
1	木村友佳	1:12:04 長野高専
MB	2.88km	↑160m
1	土屋 武	0:33:02 愛知 OLC
2	世良 清	0:48:49 三重大学
3	滝 晴樹	1:02:28 静岡 OLC

W21A	3.06km	↑200m
1 鈴木聡子	0:42:42	東北大 OLC
2 江幡禎子	0:43:55	東北大 OLC
3 宮川早穂	0:45:34	ES 関東 C
W65A	2.53km	↑145m
1 芝 聖子	1:07:43	OLP 兵庫
2 辻村紀子	1:53:42	コンターズ
W50A	2.53km	↑145m
1 山本陽子	1:27:08	東京都
W35A	2.89km	↑170m
1 佐野千恵美	0:53:14	小松市 OLK
W20A	2.89km	↑170m
1 大沼 由佳	0:54:55	東北大 OLC
WB	2.88km	↑160m
1 沖浦有樹	1:21:36	大阪 OLC

## 野望を感じさせる大会

ここ数年、レベルの高い地図と競技を見せてくれている福井県が見せてくれた。地図、トレインともに北陸のイメージを変える競技会だったことは間違いない。

前日の加賀海岸とは違うタイプのトレインで、ナビゲーションの楽しさを感じさせるコースだった。

6月に同じ会場が福井市民大会が開催された。今回の大会は会場こそ同じだが、競技範囲が異なる。リピーターも飽きさせない。今回使用した地図を見るとまだまだ未調査域があり、さら

なる拡大を行う事が示唆されている。今後のイベント開催に期待したい。

## ウェア

ボトムスはサポートタイツ。昨日と違って足場が悪いことを想像してハイソックスをタイツの下に履いた。

トップは長袖。気温も低め。今日は森が深い。枝を掻き分けるには長袖だろう。ウェア選びは正解

## シューズ

昨日とは異なりピン付オリエンテリングシューズを使用。

急斜面のオリエンテリングではピン付シューズが安全だ。安全ゆえにスピードも出せる。

## サングラス

本日は使用しない。深い森では枝が目線より高い。またトレイン内は暗い事が予想された。

## コンパス

プレートコンパスを選択。

昨日の加賀海岸ミドルのあとに行われたスプリントレースでハンドコンパスを試してみたが、素早く使いこなすことができなかった。やはり自分にと

ってミドル競技はプレートコンパスだということを再確認して、下宇坂大会ではプレートコンパスを選択。結果的にはどちらでも変わりなかったようだ。

## レースの感想

全般的にミスの少ないレース運びを心がけた。今回地図縮尺が1:7,500ということで地図から見る印象より迂回に時間がかからない。安全ルートを選ぶ代わりにスピードを上げることを意識した。ひとつひとつのレッグを見ると最速のルートではないが、最後まで集中力を切らさずレースをまとめきった。これが結果的に10秒差での優勝へと繋がった。

会場に出店していた越前おろし蕎麦が大人気。2杯食べ満足。駐車場も会場横とアクセス便利だ。北陸観光旅行とレースが楽しめ満足の2日間。

(木村佳司)

